

ひと・夢・まち 町長コラム

【ふるさとの集い】3年ぶりの開催～故郷・古里・そして心のふるさと～ (令和5年3月号)

去る2月19日3年ぶりに「東京中山会・ふるさとの集い」が東京日暮里にて満を持して開催されました。ウィズコロナでの開催ということもあり例年より少ない参加者となりましたが、石澤会長さんの「本当に開催して良かった」との温かい言葉のとおり、円卓を囲んで笑顔と笑い声が溢れ、「ふるさと・なかやま」を皆で合唱する会場には、柔らかな人を包み込むような空気が流れていました。会員メンバーは、中山町で生まれ育った方、父母の実家がある方の他に、その知人や近所付き合いで中山町には直接関係のない方もいらっしゃるのです。

「故郷」は生まれ育った土地、「古里」は一度住んだことがある、何らかの縁がある土地の意味もあるようです。東京生まれ東京育ちの人は、よく故郷がないと言いますが、「心のふるさと」は誰しものが持って良いものです。我が町をふるさとに選んでくださった方々が輪を囲み一緒に談笑している情景は何とも微笑ましく、まさしく中山町の応援団であると心強く感じました。

地元に住んでいる私たちには当たり前の景色・土の匂い・人の営みですが、それらを熱く大切に遠くから想ってくださっている方々がおられることに、改めて感銘を受けました。「東京中山会の皆さん」に感謝!!

「郷土の誇りを未来につなぐ ひとが輝く健幸のまち」に乾杯!!